

○呉羽地区上下水道事業に関するタウンミーティング議事録

日 時：令和7年8月2日（土）

午前10時～11時30分

場 所：呉羽会館

出席者：20人

【上下水道事業管理者からの説明】

【意見交換会】

・上下水道事業の独立採算制は、何に基づいて決まっているのですか。

（上下水道事業管理者）

独立採算制は、地方公営企業法で規定されています。

ただし、独立採算を基本としつつも、支出の全てを料金収入で賄っているのではなく、借入や国庫補助金、水道事業であれば加入金、下水道事業であれば雨水に関する費用としての一般会計からの繰入金などにより経営が成り立っています。

・水道事業の民営化はできないのですか。例えば、電力会社のように民営にして、より効率の良いシステムを作り上げていくことを考えてもよいのではないですか。

（上下水道事業管理者）

海外では、水道事業を民営化している事例もありますが、民間企業が運営することにより、利益優先となり、水道の安全性を確保できなくなるという不安が生じていると聞いております。

一方で、国内では、近年、宮城県がコンセッション方式という、施設の所有権は持ったまま、民間会社に運営を任せるという運営を始めました。国では、民間のノ

ウハウや資金などを活用しながら施設を運営していくことを推奨しています。今後は、本市においてもサービスの安全性などを担保しながら、どのように民間活力を導入していくかを検討し、可能なものは対応したいと考えています。

・事業規模の大きな投資として、流杉浄水場や浜黒崎浄化センターについて、具体的に施設更新の計画はありますか。

(上下水道事業管理者)

流杉浄水場は、日量5万3000トンを供給する2系統の施設が供用開始から50年となっています。現時点で具体的な計画はありませんが、災害時の対応や人口減少などの状況を踏まえた整備が必要と考えています。

浜黒崎浄化センターは、供用開始から46年が経過しています。現時点では具体的な計画はありませんが、将来的には再構築が必要であり、今後、手法も含め検討を進めてまいります。

・富山市の上下水道料金は全国平均と比較してどのくらいでしょうか。

(経営管理課長)

1か月あたりの上下水道料金の合計金額は、富山市が7,900円、富山市と同程度の規模である中核市62市の平均が8,706円です。富山市は安い方から数えて24位となっています（令和6年4月1日現在）。

※発言の一部を整理して掲載しています。（上下水道局経営管理課）